

授業科目名	保育の心理学 (2100602)		
時間割名	保育の心理学 (24116)		
時間割担当	岡村季光		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	火・4		

授業の目標・概要

第1に幼児理解にかかわる基礎理論を習得する。第2に幼児理解の方法を学ぶ。具体的は心理・教育的な側面を中心とするアセスメントについて述べる。子どもの発達状態や特性およびニーズを把握し、一人ひとりに合った支援の方向性、教育目標、指導方法を導き出し、実際の教育的支援につなげる一連の流れを知る。

学習の到達目標

- ・保育の場で育まれる子どもの心身の発達を理解する
- ・子どもの発達に応じた支援について、実践的に考えられるようになる

授業方法・形式

主体的・対話的で深い学びが実現する過程として、講義内容と関連した作業や演習をペアワークやグループワークで行い、その後作業や演習の内容を各自で振り返る。

授業計画

- 第1回 概要説明、グループ・ワーク(1):「私って誰?“Who am I?”」
- 第2回 グループ・ワーク(2):ブラインド・ウォーク
- 第3回 協応運動を知る:鏡像描写
- 第4回 芸術療法(コラージュ療法)体験
- 第5回 性格検査の実際(1)質問紙法(T E G 東大式エゴグラム第2版)
- 第6回 " (2)投影法(風景構成法・投影法疑似体験)
- 第7回 " (3)作業検査法(内田・クレペリン精神作業検査)
- 第8回 " (4)理論編
- 第9回 発達の基礎理論について
- 第10回 発達検査の実際(遠城寺式・乳幼児分析的発達検査法/K I D S)
- 第11回 知能検査の実際(1)田中・ビネー知能検査V[ファイブ]
- 第12回 " (2)W I S C - (概要)
- 第13回 " (3)W I S C - (プロフィールの読み方)
- 第14回 " (4)K - A B C (概要・プロフィールの読み方)
- 第15回 " (5)個別指導計画(IEP)の作成と指導の展開例

成績評価の基準

平常点(授業への積極的な参加状況・レポート等)(30%)と期末筆記試験の成績(70%)

準備学習・復習及び授

・授業前には、あらかじめ指示した文献の該当箇所を読み、ノートにまとめる。演習後に理解できていない箇所は必ず指定した文献で該当箇所を調べる。

履修上のアドバイス及

- ・第1回目の授業で詳細についてオリエンテーションを行いますので、必ず出席をすること。

教材・教科書

使用しない。

参考書

適宜紹介する。